

つぶて 平戸礫岩の岩石地植物群落 天然記念物(国答申)

答申年月日 平成10年4月21日
所在地 平戸市大志佐町津和ノ浦
管理団体 平戸市

礫岩は平戸島の南西部にあり、全体が凝灰角礫岩からなる岩山である。最高海拔は287m。尾根の上では土壌が浅く各所に母岩が露出する岩石地である。そのような乾き易い立地に、イワシデ群落とダンギク群落が発達している。その中には次のような特殊な植物が生育する。

イトラッキョウは世界中で礫岩と付近の岩山だけに分布する平戸島固有の植物である。11月初旬に開花する。ほかに朝鮮半島系植物=イワシデ、コバノチヨウセンエノキ、ダンギク、チヨウセンノギク、隔離分布種=ミヤマビャクシン(近隣分布地:多良・経ヶ岳、佐賀県黒髪

山、福岡県障子岳、熊本県五家の荘)、ネズミシバ(韓国・済州島)、イブキジャコウソウ(本県波佐見町、佐賀県黒髪山)が生育する。さらに日本列島系の岩石地植物=ニシノハマカンゾウ、ツシマンネングサ、イブキシモツケ、キハギ、イブキジャコウソウも加わる。以上のように礫岩は、植物地理学、植物生態学、植生学の観点から、他を以て代えることの出来ない特色を有する。

イトラッキョウ

